

第7回鹿沼市総合計画審議会（令和4年1月24日）議事録

1 概要

日時	令和4年1月24日(月)10:00~11:00
場所	鹿沼市民文化センター 小ホール
出席者	3 参加者名簿 のとおり

2 内容（要約）

項目	内容
会長あいさつ	<p>【奈良部会長】</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の厳しい環境の中での策定となったが、委員の皆様とともに、何度も審議を重ね、総合計画の案が事務局から提出されたところである。内容としては、我々の意見もよく反映されており、よく練り上げられた計画になったと考えている。・本日は答申に向けた決議を行うため、円滑な審議に皆様のご協力をお願いしたい。
議事1 総合計画策定のこれまでの経過、議事2 パブリックコメントの結果	<ul style="list-style-type: none">・【事務局】資料に基づき説明。・質疑等なし。
議事3 第8次鹿沼市総合計画（案）、議事4 答申書（案）について	<ul style="list-style-type: none">・【事務局】資料に基づき説明。・【梶原委員】最初に公助が来る場合は、次に共助、最後に自助という順番の方が自然であるという市民の声があった。公助・自助・共助という順番になった理由を教えてください。→【事務局】ご指摘の箇所についてだが、事務局としては自助・共助の順番については特段何かを意図したところではない。→【梶原委員】何か意図があった上での判断ではないとのことであれば、順番を変えてはいかがか。・【設楽委員】この記載の方法で良いと考えている。市民がみんなで協力できることは、まずは自助、その次が共助ということになってくるため、この記載順でわかりやすいと考えている。・【大島委員】記載の順番が、まず公助についてしっかりと記載して、その上で次は自助で頑張ってもらいたい、それでも対応しきれないから、地域で協力していこうというような意図だと理解している。一方で、昨今の流れとしては、公助がまずあって、地域で支えあう共助、自分で頑張る自助という順番が一般的だと考えている。共助の前に

まずは自助という意図があるならば、この記載順番のままにして、市民の皆さんにしっかりとやっていただきたい旨を発信すれば良いのではないか。こうした意図がないならば、記載順を変えることを検討しても良いのではないか。

→【事務局】今回の総合計画策定にあたり、市民アンケート等から市民の意見を聴取し、現状分析を行った。その結果から、これからは行政と市民・団体・企業がみんなで力合わせていかないと、この難局は乗り越えられない、という強い思いがある。総合計画は行政の計画であるため、まずは公助を訴えたが、次に自助の部分で自身が地域に参加するという思いがないと、共助につながらないのではないかと考えている。これまで一生懸命に色々なご協力をいただいてきたが、まずは自分が行動するという思いがあってはじめて共助につながるということで、公助・自助・共助という順番にしたいと考えている。

・【奈良部会長】原案通りが良いと考える方は挙手をお願いしたい。

(賛成多数)

賛成多数であるため、原案通りとしたい。

次に、答申書案について、ご意見はあるか。原案通りの答申案で良いと考える方は挙手をお願いしたい。

(賛成多数)

賛成多数であるため、原案通りとしたい。

【事務局】奈良部会長から市長へ答申書をお渡しいただきたい。

【奈良部会長】第8次鹿沼市総合計画の策定について答申する。

令和2年8月3日付け総第119号をもって、次期鹿沼市総合計画の策定にあたり、意見を求められたが、当審議会における審議の結果、第8次鹿沼市総合計画案については本市の今後の市政運営の指針として適切なものと認められる。市民と行政が一体となり、第8次鹿沼市総合計画の着実な推進を要望する。

市長あいさつ

・地域社会の担い手問題、財政悪化、自然災害の多発、さらにはコロナ禍など多くの課題が重くのしかかってきている環境下でも、市民の皆さんにとって暮らしやすく、安らかな故郷として鹿沼市がこれからも発展していけるようこの計画を策定させていただいた。

・策定しておしまいではなく、これからの取組が我々に求められていると理解している。ぜひ皆様方にはその後の進捗状況をしっかり見守っていただき、いろいろとアドバイス等いただきたい。

・今回の総合計画でも、いわゆる自助・共助・公助という観点から作成させていただいた。基本的にはまず役所が方向を示して、政策を掲げていかなければならない。しかしそれでは市政を担いきれないため、皆が努力をしてお互いに繋がり、協力していこうという思いを込めて、公助・自助・共助ということを書かせていただいた。

・今回、会長を務めていただいた奈良部会長は自治会長であり、自治会を代表されて参加いただいた。このような活動を通してこれからも地域を支えていただくように皆さん方にも特段のお願いを申し上げます。

3 参加者名簿

No.	氏名	所属
1	設楽 昭子	鹿沼市小中学校校長会
2	菅俣 宗良	栃木県総合政策部
3	井戸 道廣（代理）	粟野商工会
4	小曾戸 庸忠	粟野森林組合
5	野口 重彦	鹿沼ケーブルテレビ株式会社
6	奈良部 実	鹿沼市自治会連合会
7	葉山 廣	鹿沼市身体障害者親交福祉会
8	渡邊 雅紀	鹿沼市男女共同参画社会づくり実行委員会
9	上澤 孝重	鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会
10	小太刀 昌子	鹿沼商工会議所
11	鈴木 康子	鹿沼市老人クラブ連合会
12	渡辺 保	鹿沼市森林組合
13	小杉 安治	上都賀農業協同組合
14	宇賀神 勝	一般社団法人栃木県建設業協会鹿沼支部
15	大島 久幸	鹿沼市議会
16	小島 実	鹿沼市議会
17	梶原 隆	鹿沼市議会